

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	家庭・地域への啓発事業						掲載ページ		
							128		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		4,800	千円	8,079	千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	指導第一課 生涯学習課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	家庭における子どもとの接し方や、子どもへの教育上の留意点など、家庭教育上の様々な問題を解決する知識や能力を、保護者等が相互学習の中から習得できるような学習機会の場を提供します。また、保護者同士がお互いに悩みを話し合う機会を作り、同じ悩みを共に解決する方法を見つけるための講座を開催して保護者同士の輪を広げる場を提供します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	私立幼稚園・保育所における家庭教育学級は全部委託により実施していますが、実施箇所を拡充するため、実施方法を見直します。また、家庭教育リーフレット「きほんのき」及び新1年生学校生活ガイド「なかよし」を委託により作成し、継続的な啓発を行います。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	市立幼稚園、小・中・特別支援学校家庭教育学級開設数		206 校	208 校	207 校	99.5 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	全ての市立幼稚園、小・中・特別支援学校において家庭教育学級を開設し、保護者等に学習機会を提供します。 (最終目標と最終年度)							
	私立幼稚園・保育所家庭教育学級実施箇所数		57 園所	175 園所	83 園所	47.4 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調
より多くの私立幼稚園、保育所において家庭教育学級を実施することにより保護者等に学習機会を提供します。 (最終目標と最終年度)								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	私立幼稚園・保育所における家庭教育学級の実施方法を見直した結果、目標には満たなかったものの、実施箇所数は大幅に増加しました。また、小学生になるまでに身に付けておく必要のある基本的な生活習慣等について啓発する家庭教育リーフレット「きほんのき」を幼稚園や保育所を通じて3歳～5歳児の保護者に配布し、幼少期からのしつけの大切さを促しました。また、このほか、新1年生には、スムーズに学校生活スタートできるよう、学校生活や家庭生活で大切なことを記載した新1年生学校生活スタートブック「なかよし」を配布しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	家庭教育学級の実施にあたっては、市の出前講演や企業による講師派遣の活用や地域の方の協力を得ながら、効率的に実施できるよう工夫しています。また、家庭教育リーフレット「きほんのき」、幼稚園・保育所を通じて配布することによりコストを削減しており、新1年生学校生活スタートブック「なかよし」については、連絡帳に情報を掲載することで、より効果的に保護者への啓発を行うことができました。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
家庭教育リーフレット「きほんのき」、新1年生学校生活スタートブック「なかよし」については、継続的に作成・配布して啓発に努める一方、家庭教育学級のあり方など、家庭の教育力向上に向けた取組みについて、見直す方向で検討します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	PTA活動との連携						掲載ページ		
							128		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		13,813	千円	1,785	千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	生涯学習課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	北九州市PTA協議会と連携した各種研修会の実施や意見交換などに加え、家庭における学習習慣、基本的な生活習慣づくり、子どもの読書活動の推進等について、北九州市PTA協議会と連携した取組みを検討し、実施するものです。			活動実績	平成23年度は、10年に1度担当地区となる「九州ブロックPTA研究大会」を北九州市PTA協議会と共催で実施しました（参加者数8,343人）。その他の活動結果は、下記のとおりです。活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	北九州市PTA協議会と連携した各種研修会などを実施するとともに、PTAと連携した取組を行います。23年度は、毎月23日を「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」と設定し、PTAと連携して子どもの読書習慣の定着に努めます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	北九州市PTA協議会と共催実施する研修会の延べ参加者数	699 人	850 人	729 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	北九州市PTA協議会との共催により、小・中・特別支援学校のPTA役員及び広報委員を対象とした研修会を実施します。  （最終目標と最終年度）28年度 850人			85.8 %			
PTAと連携した取組の実施	—	市内の各幼稚園・保育所、小・中・特別支援学校等に2セットずつ配布	市内の各幼稚園・保育所、小・中・特別支援学校等に2セットずつ配布	順調 やや遅れ 遅れ	大変順調		
	PTAと協働して「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」啓発用のぼり旗を製作し、市内の各幼稚園・保育所、小・中・特別支援学校などに配布します。  （最終目標と最終年度）						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	昨年同様、小・中・特別支援学校のPTA役員及び広報委員を対象とした研修会開催（北九州市PTA協議会と共催）しました。また、今年度は、10年に1度担当地区となる「九州ブロックPTA研究大会」を開催し、PTAとの連携の強化に努めました。 その他、「小学生親睦駅伝大会」の開催（北九州市PTA協議会と共催）など市PTA、各区PTA、単位PTAと連携・支援することにより、子どもの体力の向上を図るとともに、保護者の参画の機会を育むことができました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市とPTAが役割分担をしたことにより、最小限の経費で効率的に事業を実施することができました。今後も、低コストで効果的な事業実施に努めます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
PTAの日の設置に合わせて、小学校応援団と連携し、保護者がPTA活動に参加しやすい環境づくりを勤めます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	家庭内事故防止のためのPR						掲載ページ
							128
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		- 千円	- 千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	0歳児を除く子どもの死亡原因のトップである不慮の事故をなくすため、「子育てふれあい交流プラザ」内に、日常生活空間を再現した「セーフキッズ」を設置し、家庭内の危険箇所や予防方法を紹介します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	「子育てふれあい交流プラザ」の来館者に対し、家庭内の危険箇所や予防方法等を、日常生活空間で再現し、PRを行うことで、家庭内での事故防止に努めます。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	「セーフキッズ」利用者数	13,643 人	-	12,957 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	より多くの市民に、啓発できたかを図る活動指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）					
					順調	順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	子どもの不慮の事故を防ぐため、日常生活空間を再現した「セーフキッズ」での啓発は、保護者に事故予防の方法を具体的に例を示して普及することができており、家庭内の事故防止に有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「指定管理者制度」を導入し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
日常生活空間を再現し、事故予防の啓発を行うことは、子どもの不慮の事故を防ぐことにつながることから、今後も継続して実施していきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	子育てネットワークの充実						掲載ページ		
							129		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		1,083	千円	984	千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	生涯学習課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保護者が子育てに対する戸惑いや不安を解決し、子育ての負担を少しでも軽くできるよう、地域の大人を一定の研修の後に子育てサポーターとして登録し、地域による子育てを支援するものです。				活動実績	同じく市民センターで活動しているボランティア「生涯学習推進コーディネーター」との合同研修会を実施し、意見交換、情報交換を通じてスキルアップを図りました。
活動計画	子育てサポーター交流会を市で実施し内容を充実させます。また、子育てサポーターの増加に伴い、サポーターリーダーの新規養成を行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	子育てサポーター登録者数		950 人	1,000 人	1,061 人		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック  大変順調  順調  やや遅れ  遅れ  <b>大変順調</b>
	子育てサポーター養成講座を受講してもらい、登録者の増加を目指します。 全市民センター（129館）に各8名程度の配置を目指します。  （最終目標と最終年度）子育てサポーター登録者数1,000人、平成26年度				106.1 %		
（最終目標と最終年度）							

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度は、111人の子育てサポーターが増え、登録者数は目標の1000人に達しました。子育てサポーターリーダーについても新たに20名を養成しました。子育てサポーターは、市民センターを拠点に、フリースペースや育児サークル等で支援活動を行っており、保護者の子育ての不安軽減に寄与しています。交流会でのアンケート結果では「大変よかった」「よかった」が76%を占めました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	子育てを経験された方など、豊富な経験を持つ方を子育てサポーターとして登録し、市民センターの方針に基づき、ボランティアにて活動を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
交流会を拡充するために、内容や開催場所などを見直します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	子どもの読書活動の推進						掲載ページ		
							129		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		59,502	千円	83,601	千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	指導第一課 生涯学習課 中央図書館

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	本市には、学校外で読書をまったくしない児童生徒が全国と比べて多い状況です。このため、すべての市立小・中学校において、「10分間読書」を推進するとともに、家庭の教育力向上に向けた方策のひとつとして、「子ども読書活動の推進」を捉え、読み聞かせや読書の重要性についての理解の促進を図るとともに、子どもが自主的に読書を行うようになるための機会を提供します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	本事業は、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に掲げた「読書好きな子ども日本一」を実現するために必要なものです。平成23年度も、事業を実施しつつ、改善に向けた検討を進めます。文部科学省が定める学校図書館図書標準に基づき、各学校の図書館図書整備率を算定しています。整備率の特に低い学校に対し、「学校図書館図書充実事業」として、国の交付金を活用し、図書購入費を追加で令達します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	「北九州市子ども読書プラン」実施事業27項目		26 項目	27 項目	27 項目	100.0 %	大変順調
	「北九州市子ども読書プラン」を策定し、家庭・地域・学校等・図書館における施策・事業を掲げ、子どもの読書活動の推進を図ります。 （最終目標と最終年度）27年度 27項目						
	学校図書館図書標準達成校の割合		小学校 55校 (42.0%) 中学校 29校 (46.8%)	27年度までに 100%の達成	小学校 66校 (50.4%) 中学校 29校 (46.8%)	順調 やや遅れ 遅れ	順調
「学校図書館図書標準」100%の達成を目指します。 （最終目標と最終年度）27年度 100%							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<p>・平成23年度からは、「北九州市子ども読書プラン」に掲げた27事業に基づき「読書好きな子ども日本一」を目指しました。とりわけ本市独自で毎月23日を「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」と定め、家庭・地域・学校・市立図書館などが一体となって事業を実施しました。各モデル校では、学校図書館の利用人数や貸出冊数が増加するなど成果が見られました。読書週間には「子どもの読書活動推進フォーラム」を開催したことで、保護者や市民に対し読書の意義について広く啓発し、子どもが自主的に読書を行うようになるための機会を提供できたと考えられるため、効果があったと考えます。「北九州市子ども読書プラン」は教員、児童生徒、保護者のニーズに応えるものであり、成果が表れていることから効果があったと考えます。</p> <p>・読書活動推進のモデル中学校区を7校区から14校区に拡大し、そこに学校図書館嘱託職員を配置するとともに、ブックヘルパーを活用することにより、学校図書館における読書環境の充実を図りました。</p> <p>・市立図書館で「子ども司書養成講座」を実施し、小中学生32名を子ども司書として認定しました。</p> <p>・図書館図書整備率の底上げを目指し、整備率が低い学校に対し、追加で図書購入費を令達したことにより、整備率85%未満の学校が小学校では20校から2校へ、中学校は14校から5校へ減少するなど、一定の成果が得られました。追加令達に併せて、各校へ学校図書整備計画調査を実施しましたが、このことにより、計画的な図書の整備（購入、廃棄など）に繋がったものと思われます。しかしながら、図書情報のデータベース化を図るにあたり、年間で大量に図書を廃棄するなど、整備率の低下に繋がった学校が見受けられ、計画的な図書整備を進めるにあたっての課題となっています。</p> <p>・学校図書館全室にエアコンを設置し、利用しやすい環境を整えました。</p>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	<p>・学校図書館の蔵書管理の方法として、図書情報のデータベース化が進められており、容易な蔵書数把握が可能となります。一部の学校ではデータベース化が出来ていないこともあり、効率的な蔵書管理のため、早急なデータベース化が必要と思われる。</p> <p>・読書は、習慣として定着させる必要があり、今後も本事業を実施していく必要が高いものと考えおり、事業の実施にあたっては、ボランティアの養成や募集するなどして、最小限の経費で効率的な事業実施に努めます。</p> <p>・学校、市民センターでの読み聞かせや学校図書館の運営支援など子どもの読書活動に関する事務事業の実施にあたっては、ボランティアを募るなど地域の方の協力支援を得ながら推進し、成果が見られました。</p>

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
平成24年度も、国の交付金を活用し、学校図書館図書の整備充実を図ります。家庭・地域・学校等連携して、更なる子どもの読書活動を推進するため、「北九州市子ども読書プラン」の事業実施に取り組みます。「北九州市子ども読書プラン」の検証を行い、事業の拡充に向けて検討を進めます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	ブックスタート(すべての赤ちゃんに本によるこびを)事業						掲載ページ		
							129		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		8,313	千円	9,930	千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	中央図書館

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	親子のふれあいの大切さを保護者に直接伝えながら、そのきっかけづくりのために赤ちゃんがいる家庭に絵本を贈り、絵本の読み聞かせを通じて、親子の絆を深めることを目指しています。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	対象となる家庭へ事業を紹介する案内状兼引換券を郵送し、図書館16館、保育園(所)158箇所、各区役所の親子ふれあいルームで受け取りができるようにしています。(受渡し等については一部委託)						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】
	絵本パック配布率		62.4 %	70 %	63.5 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	絵本パック配布対象家庭に送付した引換券の数に対して、何パーセントの家庭が実際に受け取ったかにより、事業の成果が測られます。 (最終目標と最終年度) H26年度 70%						
	配布場所の拡大		順調	平成23年度から八幡西区役所親子ふれあいルームでの配布を開始します。	予定通り配布を開始しました。	順調 やや遅れ 遅れ	順調
配布率を高めるため、配布場所の拡大に向けて取り組みます (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	・配布対象者9,514人に対して6,044人に配布し、配布率は63.5%で、前年度比1.1%の増となりました。 ・また、平成23年度から、八幡西区役所親子ふれあいルームでの配布を開始しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	絵本パックを受け取れる場所を増やすことが配布率向上につながることから、関係部局との協議を進め、配布場所の拡大等の検討を行います。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
「すべての赤ちゃんに本によるこびを」というブックスタートの趣旨を踏まえ、継続して事業を実施します。 実施に当たっては、単に絵本を配るだけでなく、読み聞かせの意義や期待できる効果の説明や、絵本の読み方の説明などが重要であると考えています。 そのため、保護者の方が気軽に、そして身近で受け取ることができるよう、関係部局との協議を進め、配布場所の拡大等の検討を行います。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	「子どもまつり」の充実						掲載ページ		
							129		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,450	千円	2,450	千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	毎年、「子どもの日」にちなんで開催している「子どもまつり」の中で、親子のふれあい等を高めることができる催しを実施することにより、親子を中心とした家庭におけるコミュニケーションの促進を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	「子どもまつり」の中で、親子が一緒に楽しみながら取り組むことができる事業などを実施するとともに、親子関係づくりの啓発活動等を行うことで、親子のふれあいを高めるきっかけづくりを図ります。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	「親子のふれあい」の推進				大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	親子のふれあいを高める催しを実施することにより、親子を中心とした家庭におけるコミュニケーションの促進を図ります。 （最終目標と最終年度）		親子のふれあいの推進				
	来場者数				順調	順調	
各区で開催している子どもまつり会場への来場者数を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）	78,100 人	-	80,653 人	やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	子どもまつりの中で行う各イベントブースに、親子のふれあいの促進を意識した内容を盛り込むことで、親子と一緒に楽しみながら体験活動や運動等を行うことができ、親子のふれあいの促進が図れます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	子どもまつりには多くの親子が来場するため、この中で親子が一緒に取り組むことができる内容の各種イベントを実施することで、効果的に親子のふれあいの促進を図ることができます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
各イベントブースで行う取り組みの内容を充実させ、親子のふれあいを強く推進していきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	育児教室等の充実						掲載ページ		
							130		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		26261	千円	28117	千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 乳幼児の子育てや基本的な生活習慣等に関する知識の普及を図るため、土日開催や託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	母子の健康確保のため、乳幼児の保護者を対象とした育児教室を各区で開催します。子どもを持つ親同士の交流や育児に必要な知識を提供します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	育児教室開催数		671 回	継続的な開催	601 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	より多くの乳幼児の保護者に対して、基本的な生活習慣や事故予防など、育児に必要な知識の普及を図ります。 （最終目標と最終年度）						
	育児教室参加者数		12,485 人	増加	10,010 人	順調 やや遅れ 遅れ	順調
より多くの乳幼児の保護者に対して、基本的な生活習慣や事故予防等、育児に必要な知識の提供を図ります。 （最終目標と最終年度）							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	基本的な生活習慣を育成するためには、乳幼児期は大切な時期であることから、乳幼児を持つ保護者に対して、知識の普及を図ることは重要です。また、子どもを持つ保護者同士が交流し情報を交換することで、育児に関する不安の軽減が図られています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係機関と連携し、参加しやすい教室内容を工夫することで、より効果的な情報提供を行うことが必要です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
基本的な生活習慣を育成するためには、乳幼児期は大切な時期であり、乳幼児を持つ保護者に対して、知識の普及を図ることは重要です。また、子どもを持つ保護者同士が交流し情報を交換することで、育児に関する不安の軽減が図られています。今後も乳幼児の保護者の実態を反映した育児教室を実施していきます。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	北九州市子どもを育てる10か条の普及促進活動						掲載ページ		
							130		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		1,410	千円	1,696	千円	施策名	家庭教育の教育力の向上	担当課	生涯学習課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	本市の子育て・親育ちのためのルールとして、平成15年度に策定した「北九州市子どもを育てる10か条」を市民に広く実践してもらい、家庭や地域の教育力の向上を図るため、様々な方法で、普及促進を図ります。					
活動計画	策定から7年が経過する中で、様々な機会をとらえ、10か条の唱和などを行ってきたところですが、家庭や地域の教育力の向上を図るため、継続して実施してもらうよう、のぼり旗やチラシ作成を委託し、引続き粘り強く普及、促進を図ります。						活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	出前講演参加者数	3 回	10 回	11 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	「北九州市子どもを育てる10か条」の普及を目指し、出前講演をより多く開催することで、参加者数を増やします。 （最終目標と最終年度）			110.0 %			
チラシ・ポスター・のぼり旗の配布による普及	実施	実施	実施	順調 やや遅れ 遅れ	順調		
	「北九州市子どもを育てる10か条」の普及を目指し、チラシやのぼり旗を各小中学校や市民センターなどに配布し、普及をめざします。 （最終目標と最終年度）						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	出前講座の参加者数について目標には達していませんが、参加者は「自分自身を振り返るいい機会になった」など、概ね満足とのアンケート結果を得られました。また学校や地域から、のぼり旗やチラシの追加配布の希望の声も年間を通して多く、家庭や地域に徐々に浸透・定着していると感じます。さらに幼稚園での出前講演の回数が増え、発達段階の早い時期での保護者への啓発ができました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市立の幼稚園や学校及び市民センター等でのチラシ・ポスターの配布を依頼したり、各種会議・講演会・行事などでの唱和、市営バスでの車内放送広告等を実施したりすることにより、低コストで効果的に広く市民に周知、啓発が出来ていると考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
出前講演の講師やテーマの変更を行います。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	親子ですすめる食育教室						掲載ページ		
							130		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,031	千円	1,291	千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	乳幼児期からの正しい食事の仕方や望ましい食習慣の定着のために、幼稚園や保育所等において、入所児童の保護者を対象に乳幼児期の食育について、栄養士の講話や調理実演などを行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	毎年40回実施予定であり、より多くの市民に啓発していきます。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	「親子ですすめる食育教室」の開催回数		40 回	40 回	40 回/毎年	100.0 %	大変順調	
	幼稚園、保育所等において教室を開催することにより、より多くの市民に啓発できるため開催回数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）毎年40回開催 平成26年度							
							順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	年長児のほとんどが幼稚園、または保育所に通っており、保護者にも最も参加しやすい場所での教室の開催は食育の推進を啓発するのに有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	従事者にボランティアを加えており、コストの面では抑えられています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後とも、幼稚園、保育所等において教室を実施し、望ましい食習慣の定着のために食育を推進します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	「食育推進ネットワーク」の構築						掲載ページ		
							130		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	保健福祉局
		53	千円	73	千円	施策名	家庭の教育力の向上	担当課	健康推進課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	食育関係団体（者）とのネットワークを構築し、食育に関する情報の共有化を図るとともに、相互の連携・協力による食育を推進します。			活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	「北九州市食育推進ネットワーク」登録会員を対象に、情報交換会を定期的（年6回程度）に開催し、食育関係者・関係団体等の相互の情報交換・交流を行い、それぞれの団体等の自主的な活動や関係団体相互の連携・協力による食育活動を推進します。また、「食育キャンペーン」を実施し、行政だけでなく官民連携・協力のもと、本市における食育の一層の推進を図ります。				
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】
	食育に関心を持っている人の割合	87 （平成19年度） %	-	-	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調
	食育に携わる団体・個人のネットワークづくりが進み、より効果的な活動が行われることで、食育の認知度が上がり、食育に関心を持った市民が増加することが期待できることから、活動指標として掲げました。（なお、目標値は本市食育推進計画策定時の現状値（87%）から1割以上の増加。） （最終目標と最終年度）96%以上（平成25年度）				
「北九州市食育推進計画」に基づく食育の推進	情報交換会を6回開催	情報交換会を6回開催	情報交換会を5回開催	順調 やや遅れ 遅れ	
本市における食育を総合的かつ計画的に推進していくことを目的に策定した「北九州市食育推進計画」に基づき、食育を効果的に推進していくため「食育推進ネットワーク情報交換会」を開催するとともに、食育に関する普及・啓発を行います。 （最終目標と最終年度）					

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	活動は概ね予定通り実施することができました。食育キャンペーン（集中取組期間：10月・11月）では、食育の様々な課題の中から、テーマを「食の選択力（を養う）」と設定し、取組みの方向性を統一することで、各種団体と連携・協力した活動を実施することができました。今後も情報交換会を通じて、会員相互の関係づくりを図り、より効果的な活動につなげていきたいと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	機会あるごとに事務の簡略化や内容の取捨選択などを行い、より効率的な事務運営となるよう努めています。また、食育に取り組む団体等とのより一層の協力・連携に努め、市民の自主的・自発的な食育活動を促していきます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
「北九州市食育推進計画」の目標達成に向け、「食育キャンペーン」（平成24年度テーマ：共食）の実施を始め、関係団体等と協力・連携した活動の充実に努めます。 また、「北九州市食育推進ネットワーク」登録会員の増加を目指すとともに、情報交換会を始めとした交流・情報交換の場の提供により団体間の情報共有化や関係づくりを支援し、相互連携・協力による活動の活性化を目指します。